

作成:2023 年 7 月 18 日

糖尿病性黄斑浮腫に対する硝子体注射施行前後の 血流変化の研究について

今回、府中アイセンターでは糖尿病性黄斑浮腫に対して硝子体注射を施行された患者さんの注射施行前後の血流変化を調査することになりました。

糖尿病性黄斑浮腫に対して硝子体注射を施行すると黄斑浮腫が消退していくメカニズムについては様々な議論があり、これまでにさまざまな知見が報告されています。このたび、硝子体注射前後の血流変化と黄斑浮腫の消退の関連について調べべく臨床研究を行うことと致しました。

- 上記の治療の対象となると判断した患者さんで、一定の基準※を満たされている患者さんがこの研究の対象者となります。
- 今回の研究に関して患者さんの治療前後の診察時データを診療録から抽出して調査を行いますので、患者さんに侵襲が及ぶ研究を行う訳ではありません。
- 個人名は研究用に付与される番号等で匿名化し、個人情報公表されることはありません。
- 本研究に同意されない場合は、いつでもお申し出ください。同意されなくても診察内容に関して何ら変わることはありませんし、患者さんに不利益はございません。
- 患者さんが希望される場合は学会での研究成果、研究計画書の閲覧が可能です。
- 当研究において、追加の研究が将来必要であると考えられた場合は、改めて倫理委員会の審査を受け、重要な研究結果が出た場合は、直接患者さんにお伝えします。尚、この研究は府中病院単独研究であるため、情報の 2 次利用のための保存は厳重に管理し、他病院への情報提供の可能性はありません。
- 患者さん、またはその関係者の方から不明な点がございましたら府中病院アイセンターにご相談ください。

【研究期間】

契約締結日～2024 年 6 月 30 日(100 例)

※対象となる基準

- ・当院当科で2022年12月以降に、DMR(糖尿病網膜症)に対して硝子体注射(アイリーアまたはバビースモ)を施行
- ・18歳以上
- ・2型糖尿病で増殖性糖尿病網膜症以外
- ・注射前の矯正視力0.2以上(0.7logMAR以上)
- ・注射前に網膜浮腫を認める
- ・注射前の中心網膜厚(CRT)>280 μ m(SD-OCT:スペクトルドメイン OCTで測定)

府中病院 アイセンター

大阪府和泉市肥子 1-10-17 TEL 0725-90-5123 問い合わせ医師 三島 壮一郎

皆様には、本研究の主旨についてご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

府中病院 アイセンター センター長 下村 嘉一